

有限会社 パッケージ高知

【所在地】〒783-0024 高知県南国市東崎549-1
 【TEL】088-863-0666 【FAX】088-863-2008
 【E-mail】info@package-kochi.co.jp
 【URL】http://package-kochi.co.jp
 【設立】1983年(昭和58年)10月1日
 【従業員】12名 【資本金】1,550万円
 【主たる業種】包装資材及び細包資材の卸売業

平成
27
年度
補正

企業概要 自社に製袋機を保有し、高機能・多品種・小ロットのオリジナルパッケージ商材を製造・販売する。

対象類型: 革新的サービス

事業類型: 一般型

代表取締役 武内 修二

海外販路開拓支援サービスを付加したジッパー付パッケージの製造

事業計画概要

海外販路開拓や訪日観光客を狙うメーカー等をターゲットに小規模事業所では全国でも珍しい、高品質ジッパー付製袋を開始する。加え、国内外の商社と連携した情報提供・マッチング等の販路開拓サポートをサービスとして付加する。

事業取組みの経緯

当社は食品用パッケージの専門メーカーであり、県内で唯一「製袋機」を保有している。2014年度に「コンビニ販売専用パッケージの製造」のテーマにて本事業に採択されたことで製袋機能が増強され、小ロット製袋の能力増強を実現。県内食品関係業者(食品加工業、農業、水産業)の新商品開発の動きが活発になったことも当社の追い風となり、コンビニ・量販に納品する県内メーカーからの受注が増加。さらに、予想外であった県外中堅メーカーや県外ラミネート業者からの受注も増加傾向にある。

一方、メーカー側では原材料や衛生製造管理のコストが年々上昇しており、包装資材はコストカットの対象となっている。そうしたなかで当社が事業を維持・拡大していくためには、より付加価値を高めたパッケージを企画・製造しなければならない。

そこで着目したのが「ジッパー付製袋」だ。日本の製袋技術は世界でも正確性・再現性においてトップレベルで、特にジッパー付製袋については、正確性や再利用性で途上国製の追随を許さない。その一方で、ジッパー付加工に対応できる業者の大半は大手パッケージメーカーであり、OEM元からの大量製造を軸にした工程を組んでいるケースが多いため、中小企業の受注は後回しになり納品日数がかかる原因となっている。しかし、小中ロットの受注を得意とする当社であれば中小企業の希望納期やニーズにも柔軟に対応できる。

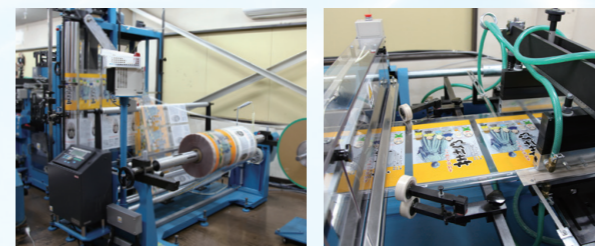
近年、全国的に中小企業の海外販路開拓が進んでおり、

TPP加盟を受けてさらに加速すると推定される。加えて、インバウンドも増加していることから、今後は海外向けまたは訪日外国人向けの商品開発が増えると思込まれる。当社としても単に受注に対する製袋・納品に留まるのではなく、商社等販路とのマッチングを含め支援機能高め、営業力の強化につなげていきたい。

実施内容

- ジッパー付三方シール用製袋機を新たに導入
 - 製袋速度…ジッパー三方袋 毎分120枚(1日最大11.5万枚)
 - ※三方袋 毎分160枚(1日最大15.4万枚)

⇒ 現状の1.5倍

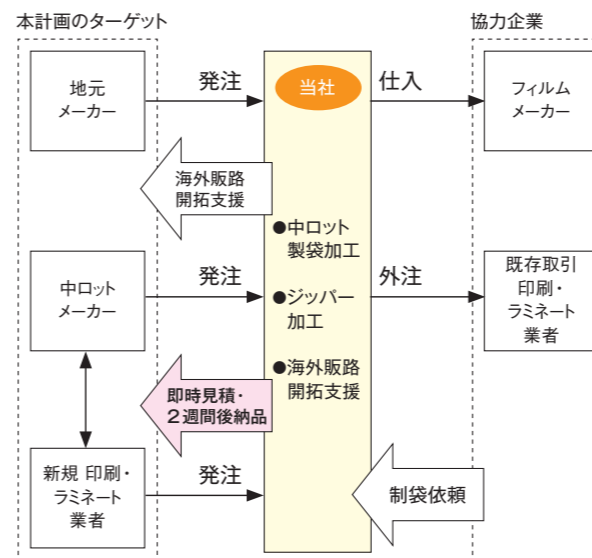


事業取組みの成果

ジッパー付三方シール用製袋機を導入したことで、ジッパー付製袋を内製化することができた。加えて、自己資金において新たに導入した受注ソフトによる即時見積もり体制も功を奏し、地元メーカーへの納品であればこれまで1ヵ月かかっていたものを1~2週間までに短縮でき、多品種小ロットの需要にも対応可能となっている。また、実数に近い納入ができるため、依頼企業のロス軽減にもつながる。これらの大手パッケージメーカーにはできない対応によって、複数の新規依頼や大口依頼を打診されている。



●ビジネスモデル俯瞰図



なかには予想外の受注もあり、海苔・梅干しなど一次産品加工食品、プレミアムペットフード、ホテル用のアメニティ商品、テーマパーク販売用雑貨など、県外中堅メーカーならびに県外ラミネート業者からの打診が急増している。これは小~中ロット製品に柔軟かつ短納期での対応ができる製袋業者を探して、当社が選ばれているものと分析している。

一方、既存の取引先については、海外取引をこれから始め

る、または開始して間もない企業が多いことから、当社が積極的にサポートを行い、海外商社との小口取引を成約に結びつけている。特に菓子類においては、訪日外国人観光客のトレンドが「ジッパー付大袋に、小分け包装されたパッケージの商品(帰国後にお土産を配るため)」であることから、既存パッケージをジッパー付パッケージに代替するメリットを伝え、切り替えを促している。

雇用面では、以前は3台の製袋機に対し、正社員1名・パート2名にて対応を行ってきたが、今回のジッパー付製袋機の導入によって1~2名の新規雇用を図ることができた。

製品内容

- ジッパー付パッケージ
ジッパー付にすることで再密封ができ、以下のようなメリットが生まれる。

- ①湿度や空気による食品等の商品劣化がしにくく、保存性が高まる。
- ②商品表示義務が厳格化するなか、保存性が高まることで消費期限を長期化できる。
- ③ジッパー付大袋に小分け包装した現在のトレンドに合った商品づくりに対応できる。
- ④アメニティ系の商品は再利用が可能である。
- ⑤商品自体の臭いを抑えることができる。



今後の活動予定・販売計画

国内外商社数社とのつながりを活かし、当社に対する受注や打診が起こった際には、海外販路開拓ができそうな商材が見極め、ジッパー付などの高機能パッケージを付与することを前提に、当社から商社へ情報の提供やバイヤーとのマッチングを実施する予定である。

また、商品の入れ替わりが激しいコンビニ業界において、スピード感のあるデザイン提案と製造を実現することは大きな強みになることから、クラウドシステムを導入し、商談や見積もり等を行いその場でパッケージの仕様やデザインまで提案できる体制を構築したいとも考えている。

一般的に包装資材は金銭的価値が極めて低いものだが、コンビニやスーパーで買い物をする際にはデザインなりパッケージでその商品を記憶し、購入が決定される。また、ジッパー付等パッケージが持つ機能が商品サービスの一翼になっていることも間違いない。そこにパッケージメーカーとしての誇りを持ち、「パッケージ高知でなければならない」という理由=付加価値を今後も生み出していきたい。